

新型コロナウイルス感染症から身を守るために
看護学部の学生への応援メッセージ NO 12

ご承知のように、現在、新型コロナウイルス感染症の第7波が到来し、最大規模の爆発的な感染拡大となっております。市中感染が広がっておりますので、誰にとっても感染は身近なものになってきています。しかしながら、社会全体がこれまで行ってきた行動の制限ではなく、長期にわたるコロナ禍のもとでの社会活動への深刻な影響を鑑み、ウィズコロナの方向へと大きくかじを切りました。2年余りになる感染症対応の経験から、感染を防ぐための方策が明らかになりつつあることも背景にあります。これから学生の皆さんは、実習や定期試験などを経て、夏季休暇を迎えられます。感染拡大の中でありながら、これまでのような制限が緩和された夏を安全に乗り切るためには、「注意をしながら生活をしていく」しかありません。夏季休暇を元気に過ごしていただくために、引き続き、体調管理と感染対策に留意して過ごしていきましょう。

看護学部長

皆さんにお願いしたいこと

1. 新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種について

現在、3学年次生までの学生の多くは3回目のワクチン接種を終えています。1学年次生の学生については、3回目のワクチン接種を終えている学生の割合は低くなっております。1学年次生は後期に大学病院での実習を控えていますので、時間的に余裕がある夏季休暇中に3回目のワクチン接種（あるいは2回目のワクチン接種）を行うことをお勧めします。

4回目のワクチン接種については、60歳以上の方、基礎疾患がある方に続き、医療従事者への接種が始まりました。看護学部学生への接種については、今後の情報がありましたら、連絡しますので、夏季休暇中においても、大学からの連絡を見落とさないよう、気をつけておいてください。

2. 夏季休暇中の感染対策について

- ① 県を超えての移動については、後学期が開始される少なくとも5日前には戻り、体調を観察するようにしてください。
- ② 愛知医科大学では学生や教職員の安全を守るため、「愛知医科大学における活動基準」を定めています。感染拡大の状況によって活動基準は更新されますので、定期的に確認しておいてください。

- ③ 夏休み中も感染対策の基本は継続してください。

AIDLE-K 体調管理シートへの毎日の入力、十分な換気、マスクの着用（熱中症のリスクがある戸外で会話をしない場合を除く）、密着して大きな声を出さないこと、手指消毒を心掛ける等の行動を、励行してください。

- ④ 体調不良時は必ず医療機関を受診してください。発熱がある場合は直接医療機関を受診せず、発熱外来がある医療機関へ電話連絡の上、受診するようにしてください。PCR検査、抗原検査等で陽性が認められた場合は、夏季休暇中でも看護学部学生支援課へ連絡してください。

- ⑤ ご家族の中に感染が疑われる症状がある場合、ご家族の PCR 検査結果が陰性の確認が取れるまでは自宅待機をお願いします。ご家族が陽性者となった場合は濃厚接触者として家庭内隔離を行った上で、自宅待機してください。自宅待機期間終了後、学生自身もPCR検査を行い、陰性確認ができた後に登校が可能となります。この場合、学生のPCR検査は大学病院で行いますので、大学からの指示に従ってください。

- ⑥ 夏季休暇中に実家に帰省されたり、旅行に行かれたりする学生もいると思います。

高齢のご家族や持病のあるご家族と久しぶりに会う前は、十分に体調を整え、感染対策を行ってください。また、普段合わない友人や親せきなどと大勢での長時間にわたる飲食は慎重に判断してください。

3. 海外への渡航について

7月25日現在での「愛知医科大学における活動基準」では、海外旅行は禁止となっています。語学研修等で海外への渡航を予定しておられる場合、渡航先・渡航期間・渡航中の連絡方法など、学生支援課へ連絡をお願いします。